Keetra Dean Dixon

2211113 福島葵

01 プロフィール

生年:1977年 アラスカ州アンカレッジ生まれ 学歴:Minneapolis College of Art and Design 卒業(グラ フィックデザイン) Cranbrook Academy of Art (MFA修了) 活動歴:元RISD(ロードアイランド・スクール・オブ・デ ザイン)教員 Museum of Arts and Designでアーティスト・イン・レジ デンス キャリアの特徴:アラスカの山小屋で個人制作活動も行う ニューヨークを中心に活動

02 ジャンルと活動スタイル

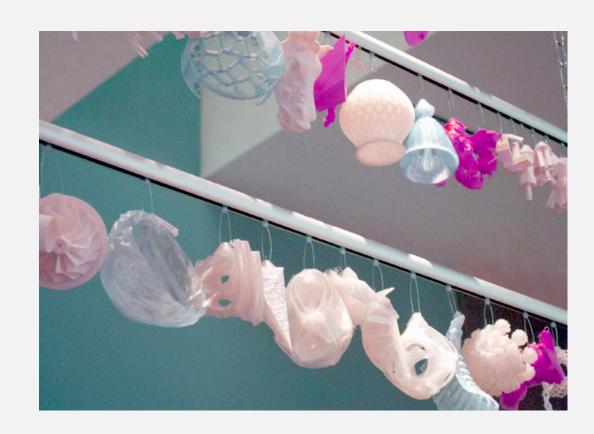
領域	内容例
タイポグラフィ	手作業による立体文字、ワックスや金属など素材を活用
インスタレーション	人が触れたり動いたりすることで完成する作品
体験型アート	参加者が"つくる"プロセスを楽しむ構造
ハイブリッド表現	手工芸とデジタル、彫刻とサインデザインの融合

03 代表作品



「Layered Wax Type: And Yet」(2011年)

蝋とアクリル絵具による立体文字作品 WalkerArt Center(2011)および Cooper-Hewitt展出品



「Museum As Manufacturer」(2013)

Museum of Arts and Design(NYC) での「実験的ものづくり」プロジェ クト

04 主な受賞・収蔵・展覧歴

受賞歴:

- ・2008年:ADC Young Guns 選出(若手デザイナー賞)
- 2009年:STEP Magazine "Emerging Talent"
- コレクション収蔵:
- ・サンフランシスコ近代美術館(SFMOMA)

展示歴:

- Venice Architecture Biennale (2008)
- Cooper Hewitt Design Museum
- Walker Art Center

公共プロジェクト:

- ・2009年:オバマ大統領就任式関連ヴィジュアル制作
- ・2012年:ロンドンオリンピック関連アートワーク

05 表現の特徴と哲学

「友好的で誠実なナンセンス」(Friendly, Sincere Absurdism)

→ ユーモラスで一見不思議だけど、温かみのある体験

クラフトと生成の融合:

→手作業でありながら、偶発性やシステム性を重視

観客の参加を前提とする構造:

→見るだけでなく、触れて・動いて・完成する作品